

環境事業の先を見すえて 適正処理を。



北川業務指導計画長

株式会社日誠

(愛知県知多市)

知多半島の臨海工業地帯を中心に収集運搬業を営まれている株式会社日誠に伺い、北川業務指導計画長にいろいろお話をうかがいました。

——産業廃棄物処理業をはじめられたのはいつ頃でしょうか。

北川業務指導計画長（以下北川に略）『今年で10年目になります。会社としては設立して19年目です。』

——どんなきっかけで産業廃棄物処理業に参入されたのですか。

北川『社の事業母体はビルメンテナンスなのですが、ビルを清掃しておりますと当然廃プラ、木くず等の廃棄物が出てまいります。そこで、ビル清掃だけでなく廃棄物の処理もできないかというお客様のニーズにお応えする形で、この業界に参入したわけです。お手伝い程度では逆にお客様にご迷惑をおかけします。やるからにはきっちりの体制でやらないと意味がありません。こうした心がけが功を奏したのか、お陰様でこれまで処理する上でクレームは一件もなく、順調に事業を進めさせていただいております。』

——万が一の事態が起きた場合の対策も講じられているのですか。

北川『当社の場合は収集運搬ですので、車両の運行管理及びドライバーの安全運転等には十分に気をつけるよう徹底させております。現在、万が一事故等が発生し、積載物が道路に散乱した場合を想定した対処方法のマニュアル化を進めています。もちろん、行政指導等を常にチェックしながら、時代背景に合ったものをつくるよう心掛けてもおります。』



社名/株式会社日誠 所在地/愛知県知多市八幡字小根14番地29
代表者/尾之内誠嗣 創業/昭和56年 従業員/80名 TEL/0562(33)0104
事業所/本社 営業種別/収集運搬 取扱い品目/燃え殻、汚泥、廃プラスチック類、木くず、動植物性残渣、ゴムくず、金属くず、ガラスくず及び陶磁器くず、鉄さい、建設廃材、ダスト類

——産業廃棄物を取り巻く現状について、どのようなご意見をお持ちですか。

北川『当社のあるこの知多地域の最終処分場が少なくなってきたのが心配です。当社は基本的に、知多半島内で出た産業廃棄物は半島内で処理したいと考えています。このままでは最終処分場を新たに確保することは非常に困難なことから、中間処理に活路を見出し出しているのが現状です。現在、自社プラントをつくるためプラント建設用地の確保に力を入れているところです。5~6年は先を見た設備投資を心がけていきたいですね。一貫体制の処理処分を行うことができれば理想的ではないでしょうか。』

——最後に貴社の廃棄物処理に対する基本姿勢を教えてください。

北川『地元の方々から信頼される仕事、排出事業者の方々安心して任せていただける仕事を行うことです。』